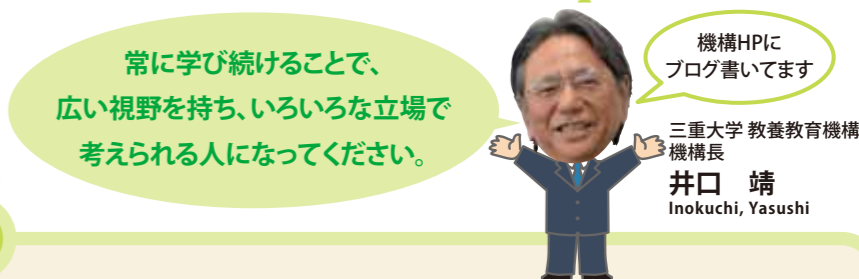


# 特集 新しい教養教育がスタート!



三重大学では2015年4月から新しい教養教育が始まりました。「なぜ、何のために学ぶのか」を意識しながら「生きる力」を身につけることができる独自のカリキュラムです。新しい教養教育カリキュラムは、全学生が履修する「共通カリキュラム」と各学部の理念と方針に基づく「目的別カリキュラム」で構成されます。共通カリキュラムでは、グローバル化への対応力と自ら進んで学ぶ自律的・能動的学修力を修得することにより、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材となることを目指します。

## 教養教育の理念と授業内容

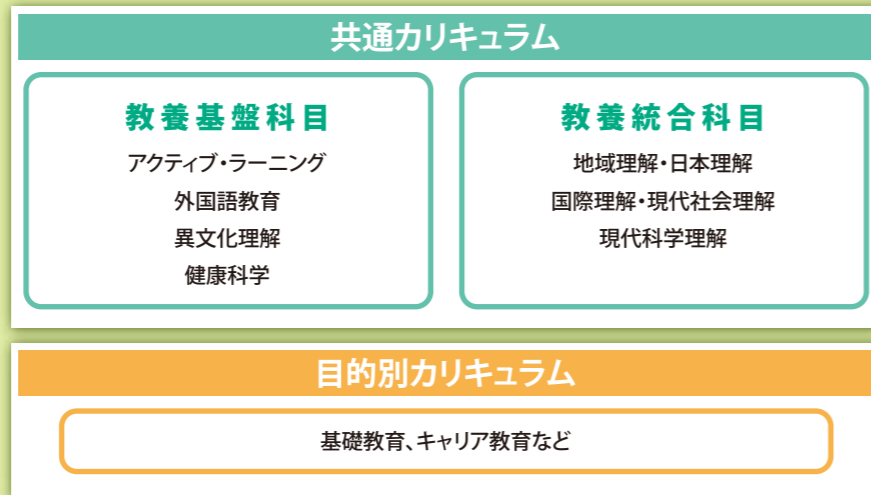
### グローバル化に対応できる人材の育成

真にグローバルな人材とは、単に外国語ができるということではなく、世界的視野で物事を考えるとともに、多様な個別文化も尊重し、理解できる眼を持つ人です。それを実現するために、入学直後に英語を集中的に学習すると同時に「異文化理解」として個別の言語や文化も学びます。さらに、教養統合科目の「地域理解・日本理解」「国際理解・現代社会理解」「現代科学理解」の領域からバランスよく履修することにより、幅広い教養に基づき、地域に根差し、世界で活躍できる人材となることを目指します。

### 自律的・能動的学修力の育成

社会は常に変化し続けています。卒業してからも社会の変化に対応して、自分で学び続けることが必要です。それによって、不測の事態にも対応できる社会人となることができます。このような力の育成のために、「アクティブ・ラーニング」の科目として、「スタートアップセミナー」「教養ワークショップ」を全学生が履修することになっています。

教養教育



## 特色ある科目

### 外国語教育

外国語教育科目として、1年次前期に全員が集中して英語を学習します。これにより、グローバル化に対応できる力の基礎が養成され、また、自ら学び続ける習慣を身につけます。また、英語力を測るために全員がTOEIC (Test of English for International Communication) を受験することになっており、その成績上位の学生は「英語特別プログラム」に参加することができます。



外国語授業

### 英語特別プログラム

1年次のTOEICの成績上位者を対象とした、より高度な英語力を養成するカリキュラムです。通常の英語の授業以外に、ネイティブ教員による英語の授業、さらには、アクティブ・ラーニングや通常の講義科目の一部も英語で受講することにより、総合的な英語力を養成します。また、1年次の春休みに実施されるイギリスでの短期研修に参加することができ、英語実践力のさらなるステップアップを目指します。1年間で培った実践的な英語力はその後の学生生活でも、卒業後においても大いに役立つことでしょう。



イギリス・シェフィールド大学

### アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングとは、教員が講義形式で一方的に教えるのではなく、学生が自ら進んで学ぶ指導・学習方法のことです。グループでの学習や活動がその有効な手段のひとつとされています。

### スタートアップセミナー (1年次前期)

三重大学の教育目標である「4つの力(感じる力、考える力、コミュニケーション力、生きる力)」の育成を目指します。特定のテーマに基づいて、グループで問題を発見し、その解決法を議論して、結果をプレゼンテーションします。これにより、学問の基本的な方法を知るとともに、社会人として働くための技能を身につけます。この授業ではコミュニケーション力の「聞く」「話す」能力を特に向上させます。



スタートアップセミナー

### 教養ワークショップ (1年次後期)

新書(論説文)を読んで書評にまとめ、それをグループで批評しあうことによってさらに内容を高めるという、これまでに例のない新しい授業です。グループはさまざまな学部や学科の学生で編成され、分野の違いによる、ものの捉え方の違いを体感できるように工夫しています。この授業ではコミュニケーション力の「読む」「書く」能力を特に向上させます。



教養ワークショップ